



学校だより



No.14
令和8年3月23日
東京女学館小学校

卒業式辞より(抜粋)

校長 盛水 裕一

この時期になると、思い出す日があります。私にとって忘れられない日です。二〇一一年三月十一日、東日本大震災が発生しました。今から十五年前の話です。最大震度は宮城県で観測された震度七。東京は震度五強でした。私はその時、公立小学校の副校長として、職員室で事務を執っていました。今まで経験したことのないような不気味な揺れを感じ、地震であると気づくまで数秒かかったと記憶しています。私の机の背後にある非常ベルを鳴らしましたが、大きな揺れのため立っていられなくなり、黒板のチョーク入れを握りしめながら、必死で子どもたちに放送を流し続けました。

この地震で大規模な津波が発生し、多くの集落を飲み込み、建物が押し流されていく映像は驚くべきものでした。さらに、福島第一原子力発電所における水素爆発の報道は、全世界に衝撃を与えました。

この東日本大震災の約二週間前の二月二十二日、ニュージーランドでカンタベリー地震が発生しています。クライストチャーチでは町のシンボルの存在の大聖堂が崩れ、邦人の尊い命も奪われました。私も何度か訪れたことのある大聖堂が崩れ落ちている姿は、言葉では言い表せないほどのショックがありました。特に地震が少ない国での出来事に、現地の方々もさぞかし驚かれたことでしょう。

この二つの地震から数か月後、日本の大手洋服店に二枚のTシャツが売り出されていました。見てみると次の文字がプリントされています。

Together for 2 Countries 1 Goal

さらに、日本とニュージーランドの国旗や地図も添えられています。発売元は、ニュージーランドのスーツウェアショップ通称「カンタベリー」です。

互いに手を取り合い、力強く復興を願う。二つの国の絆を感じた瞬間でした。今では、崩れ落ちた大聖堂は、日本人の建築家によるデザインが採用され、新しい大聖堂が建立されています。今後も、あらゆる場面で協力関係を結んでいくことを願います。

このような国と国との関係は、学級と学級との関係、人と人との関係にも言えるのではないかと思います。卒業生の皆さんは、苦しい時は互いに助け合う、困っているときは手を差し伸べ合う、そんな仲間であってほしいと思います。

写真：ラケビリーパブリック二〇一九
Tシャツ：カンタベリー オフ ニュージーランド

令和七年度も終わろうとしています。今年度も、保護者の皆様の教育活動へのご協力を深く感謝申し上げます。



送別ドッジボール大会 3月2日(月)

3月2日(月)は、送別ドッジボール大会。2月24日(火)から3年生以上で予選が始まりました。どのクラスも作戦を立て、休み時間にも練習に励みながら、一人ひとりがチームの勝利に向かって全力で取り組む姿が見られました。白熱した予選を勝ち抜き、本戦には4年B組、5年A組と6年生が出場しました。試合に出る人も応援する人も、ボールの行方に注目し、力いっぱいプレーしたり声援を送ったりしました。決勝戦は6年A組と6年B組。素早いパス回しや、捕っては投げ、投げては捕られての攻防が続き、最後の2ボールでは次々とボールが飛び交う迫力ある展開となりました。熱戦の末、6年A組が優勝しました。大会は50年以上続く伝統行事であり、6年生の卒業を祝う会でもあります。試合だけでなく、勝っても負けても相手を思いやり、最後までフェアプレーの精神を忘れずに取り組む6年生の姿勢は、下級生にとって大きな学びとなりました。この経験を活かして、来年度の大会もまた素晴らしいものになることを楽しみにしています。

体育科 教諭



来年度運動会のメダル決定

運動会の参加賞になるメダルデザインを全校から募集しました。各クラスで選ばれた候補作品の中から、全校児童で投票を行い、来年度は4年B組の児童のデザインに決まりました。ポンポンを持った可愛い女学館生が素敵に描かれています。どんなメダルキーホルダーが出来上がるのか、運動会を楽しみにしてください。



鼓笛隊引継ぎ式 3月9日(月)

《引継ぎの言葉》

6A 児童

今日で私たちの演奏は最後です。後期の鼓隊は、学芸会にむけての練習時間がとても短く、楽譜やリズムを覚えるのに苦労していました。そんな時、前期の鼓隊さんがきてくれて、助けてくれました。私は、日々練習を重ねることの大切さや、仲間と助け合うことの大切さを学ぶことができました。音を合わせるといことは、心を合わせることなのです。次の鼓笛隊を引き継ぐ皆さんも、このことを忘れず、みんなで支え合って東京女学館小学校の伝統である鼓笛隊を受け継いでいってほしいと思います。



すずかけ「お箸の使い方」(2/19~2/24)

担当教諭

南部久美子先生を講師にお迎えして、授業が行われました。1~3年生はご家庭で普段使っている自分のお箸を用い、正しいお箸の使い方を一人ひとり丁寧に指導いただきました。4年生はお椀を使用して、お椀を持ちながらお箸を取る作法を学びました。お箸の取り方は「三手」(右手で取り、左手に預け、右手を滑らせて持つ方法)です。ご家庭でも、ぜひお子様から教えてもらう機会をつくっていただければ幸いです。5年生は、これまでの学習を振り返りながら、自分でデザインしたお箸を制作しました。世界に一つだけのMYお箸。完成が楽しみです。出来上がったお箸を大切に使いながら、これからも正しいお箸の使い方を実践し続けてほしいと思います。



1・2年生ひなまつり会 3月3日(火)

1年生 担任

少し緊張した表情で2年生を待つ1年生。この日は、2年生のお姉様に「ありがとう」をお伝えする日です。今までは、迎える会でも、運動会でも、七夕まつり会でも、2年生のお姉様方が1年生をリードしてくださいました。でも、今回は1年生が司会をし、お姉様方を拍手でお迎えます。1年生からは、気持ちのこもった鍵盤ハーモニカの演奏と歌、2年生からは、生き生きとした迫力ある歌の発表がありました。素敵な発表は、それぞれの1年間の成長が感じられた瞬間でした。その後は、1年生から2年生へ、つばさのお授業で作ったお手紙と、図工のお授業で作ったプレゼントをお渡ししました。“次の1年生のお世話は、私たちに任せてください！”とばかりに、誇らしげな面々。最後に全員で「うれしいひなまつり」を歌い、今年度の合同行事を締めくくりました。



3年生 七輪体験 3月10日(火)

社会科担当教諭

社会科の「くらしのうつりかわり」の単元で昔の道具について学習し、今年度も七輪体験を行いました。当日の午前中は、雪が舞う時間帯もあるほど寒かったですが、昼過ぎには日が差してきて、予定通り体験開始となりました。班ごとに七輪を仲良く囲んで、昔の暮らしに思いを馳せるひとときとなりました。

七輪の正面に、何かを入れられる場所がありました。そこにすみを入れて火をつけるのかなと思いました。初めて七輪でおもちをやいて食べて、今まで食べたどのおもちよりもおいしくてびっくりしました。今の道具は昔の道具よりよっぽどべんりですが、ひと手間かけた方がとってもおいしいです。七輪でおもちをやいてしょうゆで食べるとおせんべいの味がしておいしかったです。

七輪の内がわの3つでっばっているところはあみをのせるところ、中の茶色いところは炭をのせるところだと思います。おもちをやくときに、火のちょうせいがむずかしくて、かた面はこげてしまったけれど、とてもおいしかったです。七輪のまわりがとても温かくてこちよかったです。また、七輪を使っておもちをやきたいです。



3B 児童

1A 児童

こどものくにで1ばんたのしかったのは、のりものひろばです。おもしろじてん車は、いろいろなおもしろいじてん車があって、たのしかったです。こどもどうぶつえんではガチョウにエサをあげて、ウサギやモルモットをさわることができて、またいきたいとおもいました。グループのおともだちと、もっとなかよくなりました。

1A 児童

ミニSLにのろうとしたときによいのSLがいてしまいました。けれど、りんじびんを出してもらったので、のれてうれしかったです。ミニSLにのっているあいだにふん水やトンネルをくぐって、たのしかったです。おひるをたべたあとにのったローリングサイクルは、すこしこわかったけど、おもしろかったです。こどものくにってたのしいんだとおもいました。



1B 児童

みんながじぶんのしごとを一生けんめいやりました。とけいがかりのおともだちが、とけいを見ながら「いどうしたほうがいいよ。」といってくれたので、けいかくどおりにいきました。まちがってまいごみちに入ったときは、ちずがかりのおともだちがだつ出のみちをさがしてくれました。みんなで力をあわせてげん気いっぱいあそびました。とてもいいおもい出になりました。

1B 児童

ローリングサイクルで、だれが1ばんまえにのるかでけんかをしてしまったけれど、みんなでゆずりあいことができました。けんかはすぐになかなおりができて、ローリングサイクルが1ばんたのしかったです。はんちょうとして、けんかをとめながらすすめられたこと、かえりのバスではんみんなが「たのしかった」といってくれたことが、なによりもうれしかったです。

2A 児童

わたしはこどもの国の日のためにはり切ってじゅんぴをしました。一番楽しかったのは、こどもゆうぼくじ場で大なわなどをすることでした。おかをみんなでのぼって「ヤッホー」と大きな声で言い合い、走って下りました。きょうなおかを走って下るのがさいしょはこわかったけれど、やってみたらとても楽しかったです。ソフトクリームを食べた時はさむかったけれど、友だちが「風よ風よ太ようにかわれ」と言った時、青空が出てきたのですごくおもしろくて少しびっくりしました。

2A 児童

わたしは時計がかりで、時計をよみまちがえたりしないように気をつけました。キュービックランドに行こうとしてまよってしまったけれど、あら川先生と出会う道で道を教えていただいたりすることができました。こどもどうぶつ園で白いくじゃくをはじめて見ました。「パッパッ」ときょうに羽を広げてびっくりしました。



2B 児童

朝わたしは、食じものどを通らないほど、ワクワクしていました。それもむりはありません。だって今日は、まちにまったこどもの国に行く日なんですから。みんなも同じ気もちかなと思ながら学校に行きました。とうとう、出ばつ時のとききました。2れつになってバスにのって、ついたら出ばつしきをおこなって、ゆうぐ広場のぐねぐねすべり台を「せーの」で6人いっしょにすべりました。また家ぞくと行きたいです。

2B 児童

こどもどうぶつ園へ行っているらどうぶつにふれ合いました。さいしょはヤギにえさをやりました。小さいヤギがかわいかったです。クジャクが羽を広げているすがたがとてもきれいだなと思いました。こどもゆうぼく場でお弁当を食べました。ひさしぶりに食べたこどもの国のソフトクリームはとてもふわふわしていておいしかったです。

6年生 コイの解剖 2月26日(木), 2月27日(金)

6年生理科担当教諭

今年も本校で何十年も続く伝統の授業「コイの解剖」を行いました。最初は「怖い」と不安を口にしていた児童たちも、友だちと支え合いながら、命をいただく重みを胸に真剣に解剖に臨みました。

解剖を通して、児童たちは生き物の巧みな体のつくりを目の当たりにしました。感想には、「うきぶくろは真っ白でツヤツヤしており、空気が入っている風船みたいでした」とあり、魚特有の器官の美しさや機能性に驚き、実物ならではの発見を通して理解を深めていました。

さらに、生命の脈動を肌で感じる瞬間もありました。「体から離れても力強く『ドクン、ドクン』と動いている心臓を見て、生きる力ってすごいんだと改めて感じました」という言葉に代表されるように、直接鼓動に触れた経験は、教科書では決して味わえない命の尊さを児童の心に深く刻む貴重な学びとなりました。



6年生 社会科見学 3月5日(木) 国会議事堂・最高裁判所

実際に法律を決める流れを体験しました。委員会では、趣旨説明・質疑・討論・採決と過程が分かれていて難しそうでした。そのあと本会議でも採決をしてやっと決まるので、ひとつの法律を決めるのにこんなに時間がかかるのだと驚きました。裁判所では、デジタルが導入されていることを初めて知りました。遠くから来られなかった人のためにモニターが設置されてリモートで裁判に参加できる仕組みになっていました。大きな事件の場合、他県にいる裁判官も参加できてより多くの意見を聞けると思います。

6B 児童



リボンの会 ごあいさつ

令和7年度会長

今年度リボンの会も、春の訪れとともに活動を終了いたします。この一年間、活動を進めてまいりましたのは、窓愛園へのご寄付やグッズの購入をはじめ、全保護者の皆様のご理解とご協力の賜物と存じております。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。また、一年間活動を共にし、リボンの会を力強くお支えくださいましたクラス代表の皆様、そしてたくさん温かいご高配を賜りました先生方に、心より感謝申し上げます。リボンの会は今年度も、運動会や学芸会、プール開放、講演会、授業公開といった学校行事のお手伝い、オリジナルグッズの企画販売、外部団体へのボランティア活動などに取り組んでまいりました。また、今年度は活動の円滑化を目的として、リボンの会代表用オリジナルサコッシュも制作いたしました。入学当初より、娘達へどのような時も愛情溢れるご指導をくださいました先生方、職員の皆様への感謝の気持ちをリボンの会の活動を通して少しでもお伝えできておりましたら嬉しく存じます。今年度の記念品として、児童の皆様ならびに先生方へリボン刺繍入り葉をお贈りいたしました。お嬢様方の読書のお供としてご愛用いただけましたら幸いです。どうぞ今後ともリボンの会の活動に変わらぬお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。一年間、誠にありがとうございました。

令和7年度 第92回卒業式

3月18日に第92回卒業式を記念講堂で挙行了しました。通い慣れた学び舎を後にしたのは73名の卒業生です。厳かな空気の中、皆、折り目正しい振舞で盛永校長先生から卒業証書をいただくことができました。式の幕開けを飾った国歌斉唱。背筋を伸ばし、一言ひとことをかみしめるように歌う全校児童の姿には、それぞれに少しずつ日本人としてのアイデンティティが育まれていることも感じられました。卒業の歌「仰げば尊し」は、6年生一人ひとりの歌声が重なり合い、柔らかなも力強く、感謝の気持ちが凝縮されていました。5年前、コロナの影響によりオンライン開催となった入学式。画面・マスク越しそして制限の多い期間もありました。にも拘わらず、日々の生活や行事などを経て、今年の卒業生ならではの誠実さそして団結力が培われていたことが、列席した在校生や私たち教職員の方に深く刻まれました。

卒業式後には、保護者の皆様温かい謝恩会を開催していただきました。会場で同じ空気を吸い、向かい合ってお食事をいただきながら卒業のお祝いをできたことに改めて感慨を覚えました。ご家庭の深い愛情に見守られてきたからこそこの6年間。教職員皆で、感謝と共に子どもたちの健やかなご成長を心より祈念し、旅立ちを祝福いたしました。

🌸 ご卒業おめでとう🌸

小学校教頭 下田 栄子

生活指導部より

生活指導部長

通学時に所持しているものについて、以下のことを再度ご確認ください。

(1) ICカード

カードマネー機能がついていますが、登下校中は通学以外の目的(買い物等)で使用させないでください。通学に必要な金額を確認して、保護者の方があらかじめチャージしてください。学バスで使用する場合、定期入れにICカードが入っていると、バスの定期券を見せる時に機械に反応して料金をとられる場合があります。利用方法と注意事項については、ご家庭でもお話しください。

(2) 位置情報端末

位置情報端末は、登下校の安全確認のために所持するものです。メールや通話の機能は使用しません。ご家庭でも使い方の約束を守ってください。※その他、春休み中に「児童手帳」「保護者のしおり」を読み直し、新年度に向けて学校のきまりをしっかりと確かめてください。(新年度一部変更あり)